

貸 借 対 照 表

令和4年1月31日 現在

株式会社エムビーシステム

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	8,395,156	【流動負債】	5,415,881
現金及び預金	1,968,496	未払金	1,269,631
売掛金	2,324,850	未払法人税等	121,200
前払費用	151,810	預り金	9,260
未収入金	3,950,000	株主、役員又は従業員から	4,015,790
【固定資産】	77,000	負債の部 計	5,415,881
投資その他の資産	77,000	純資産の部	
差入保証金	28,500	科目	金額
敷金	48,500	【株主資本】	3,056,275
		資本金	1,000,000
		利益剰余金	2,056,275
		その他利益剰余金	2,056,275
		繰越利益剰余金	2,056,275
		純資産の部 計	3,056,275
資産の部 計	8,472,156	負債及び純資産の部 計	8,472,156

損益計算書

自 令和 3年 2月 1日
至 令和 4年 1月 31日

株式会社エムビーシステム

売上高	14,646,148
売上高	14,646,148
売上総利益	14,646,148
販売費及び一般管理費	14,432,614
役員報酬	2,736,000
福利厚生費	29,556
交際費	128,923
通信費	166,238
消耗品費	768,659
租税公課	141,050
減価償却費	1,574,745
修繕費	11,880
保険料	126,430
法定福利費	384,406
リース料	99,000
外注費	5,209,600
支払手数料	378,455
地代家賃	1,052,400
運賃及び荷造費	1,180
水道光熱費	13,200
車両費	462,460
会議費	1,590
諸会費	16,500
旅費及び交通費	976,580
雑費	153,762
営業利益	213,534
営業外収益	298,827
受取利息	21
雑収入	298,806
経常利益	512,361
特別利益	787,805
固定資産売却益	787,805
税引前当期純利益	1,300,166
法人税等合計	350,700
法人税、住民税及び事業税	350,700
当期純利益	949,466

製 造 原 價 報 告 書

自 令和 3年 2月 1日
至 令和 4年 1月 31日

株式会社エムビーシステム

株主資本等変動計算書

自 令和 3年 2月 1日
至 令和 4年 1月 31日

株式会社エムビーシステム

株主資本

利益剩余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期変動額

当期純利益

949,466

個 別 注 記 表

自 令和 3年 2月 1日
至 令和 4年 1月 31日

株式会社エムビーシステム

【継続企業の前提に関する注記】

この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

《資産の評価基準及び評価方法》

〈有価証券の評価基準及び評価方法〉

ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

〈たな卸資産の評価基準及び評価方法〉

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。ただし、原材料は最終仕入原価法を採用しています。

《固定資産の減価償却の方法》

(a) 有形固定資産

定率法を採用しています。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(b) 無形固定資産

定額法を採用しています。

《引当金の計上基準》

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

【貸借対照表に関する注記】

《取締役等に対する金銭債権・金銭債務》

〈金銭債務〉

4,015,790円

【株主資本等変動計算書に関する注記】

《発行済株式の種類及び総数に関する事項》

〈発行済株式〉

〔合計（発行済株式）〕

{前期末株式数（発行済株式）}

100株

{当期末株式数（発行済株式）}

100株